

地域発展の功績たたえ

平成27年度つがる市表彰式

褒章

市民または市に縁故が深く、福祉、勤業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、功績が特に卓越し、顕著であった人に贈られます。

昭和42年から平成26年までの47年にわたり消防団員として地域住民の生命財産の保護に努めたほか、柏地区団長として消防行政の推進に大きく貢献した。

昭和42年 6月～平成17年 2月 柏村消防団
 平成17年 2月～平成26年 6月 つがる市消防団
 平成 6年 4月～平成12年 3月 分団長
 平成12年 4月～平成18年 2月 副団長
 平成18年 4月～平成26年 6月 柏地区団長



平川 常雄 氏
66歳・柏玉水

「平成27年度つがる市表彰式」が10月29日、松の館で行われました。今年度の受賞者は褒章1人、功労賞9人で、消防団員や保健協力員などとして、長年にわたり地方自治の発展や社会福祉の向上に貢献されました。式典では福島市長が受賞者一人一人に表彰状と記念品を贈呈。受賞者を代表して平川常雄さん（柏）が「今回の栄誉を励みとし、つがる市がますます魅力あるまちになるよう協力します」と謝辞を述べました。

功労賞

市民または市に縁故が深く、福祉、勤業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、優れた功績があった人に贈られます。

昭和63年から平成26年まで成人病センターおよびつがる市民診療所の勤務医として地域医療を支え、市民の病気の予防や早期発見、健康維持のために大きく貢献した。



岩村 秀輝 氏
59歳
弘前市

平成11年から平成27年まで稲垣村議会議員、つがる市議会議員として行政に尽力し、地方自治の振興発展に大きく貢献した。



齊藤 幸洋 氏
73歳
稲垣町沼館

昭和61年から平成27年まで木造町農業委員、つがる市農業委員として農業行政に尽力し、地域農業の振興発展に大きく貢献した。



長谷川孝悦 氏
66歳
木造下福原

平成6年から平成27年まで保健協力員として総合健診の受診の啓発など地域住民の健康増進に大きく貢献した。



千田 千恵 氏
76歳
豊富町千貫

昭和63年から平成27年まで交通指導隊員として児童生徒の交通安全防止活動や、各種行事での交通安全等に献身的に尽力し、市の交通安全の推進に大きく貢献した。



小山内佑治 氏
71歳
稲垣町沼館

平成4年から平成27年まで交通指導隊員として児童生徒の交通安全防止活動や、各種行事での交通安全等に献身的に尽力し、市の交通安全の推進に大きく貢献した。



片山 雄悦 氏
65歳
稲垣町沼崎

昭和59年から平成26年まで下繁田第七納税貯蓄組合長として納税思想の普及に尽力したほか、市納税貯蓄組合連合会会長などを務め、組合員の育成指導に大きく貢献した。



加藤 彰 氏
81歳
稲垣町下繁田

昭和63年から平成26年まで連沼納税貯蓄組合長として納税思想の普及と高揚と市税収入の安定に大きく貢献した。



工藤 勝俊 氏
73歳
木造曙

平成6年から平成26年まで床舞第七納税貯蓄組合長として納税思想の普及と高揚と市税収入の安定に大きく貢献した。



葛西 繁隆 氏
83歳
森田町床舞

芸術の秋 日頃の成果披露

つがる市総合文化祭



童謡「蕾の会」

文化の祭典「第11回つがる市総合文化祭」が10月31日、11月1日の2日間、松の館を主会場に開催されました。
舞台公演部門では、市内の文化団体が日本舞踊、コーラス、レクリエーションダンスなど多彩なステージを披露。作品展示部門では、絵画、生け花、手工芸などが展示され、訪れた市民らの目を楽しませていました。



山百合会



つがる宝生会



絵画を楽しむ来場者



つがる秀玉会



稲垣表千家サークルの茶道体験



こよりで作られたつがるちゃん



レディースつがる

作品展示部門



浅草遠州一清流茶道支部



つがるこよりの会



森田菊の会

世界の文化を楽しむ

国際交流フェア開催



11月3日、国際交流フェアが松の館で行われ、大勢の親子連れらで盛り上がりました。

これは、市姉妹都市協会（葛西貢造会長）が異文化に触れ合い、姉妹都市への理解を深めてもらおうと毎年行っているもので、今回は県内各地の国際交流員や外国語指導助手ら16人が運営に協力し、出身国の文化などをPRしました。

イベントでは、ハロウィーン風船細工体験や市の姉妹都市を紹介するコーナーが設けられたほか、世界各地の食べ物や飲み物を振る舞うコーナーが人気を集め、来場者は普段見慣れない異国の料理を堪能していました。また、この日は仮装して訪れた人にお菓子がプレゼントされる特典もあり、さまざまな衣装に身を包んだ市民らで会場は華やかに彩られていました。



①世界の文化を紹介する外国語指導助手②「トリック・オア・トリート」でお菓子のプレゼント③④世界の料理を堪能⑤ハロウィーン風船細工に挑戦⑥さまざまな仮装で来場した子どもたち⑦大勢の親子連れでにぎわう会場



3年生



図や写真で分かりやすく説明



提案を堂々と発表する生徒



質問にも丁寧に対応しました

つがる市の未来への提案

つがる市を訪れる観光客を増やすための旅行プランの提案

(白戸友基君、木村省吾君、佐藤 陣君)

■主な内容

つがる市まるごと体験ツアー

田植え、メロン収穫、リンゴ狩りなどの農作業体験やけの汁、しとぎ餅作りなどの料理体験など、1年間を通した誘客ツアーを実施

縄文時代体験スタディツアー

北海道・東北管内小学校の修学旅行生をターゲットに、市内の縄文遺跡巡りや土器作り体験などを実施

つがる市の産業をより良くするために (渋谷沙妃さん、小山寛之君、田中未菜美さん)

■主な内容

つがるファクトリー建設

ナガイモやメロンなどの農産物を加工する工場を建設し、加工品の販路を海外へ拡大

めじゃ〜ポヌーレ整備

既存の市内産直施設を統廃合。柏地区の農産物直売所に地元食材を利用し、若い世代や家族連れ向けをターゲットにしたカフェ(めじゃ〜ポヌーレ)を築築

市の明るい未来を目指して 木造高生が市長らと意見交換

1年生



職員の説明に熱心に耳を傾けます



活発な意見交換が行われました



11月10日、木造高校(吉田健校長)の3年生20人と1年生160人が、市の抱える課題について、福島市長や市職員らと活発に意見を交わしました。

流通ビジネス系列で商業分野を専攻している3年生は、4月から地域創生をテーマに課題研究を進めてきました。この日は市役所を訪れ、福島市長や市の関係課長らに2つの提案を発表。「つがる市を訪れる観光客を増やすための旅行プランの提案」では、季節ごとの農作業体験、旬の食材を使った料理体験など1年間を通した誘客ツアーの実施や、市内縄文遺跡等を活用した修学旅行生の受け入れなどを提言しました。「つがる市の産業をより良くするために」では、市内にある産直施設の強みと弱みを分析し、農産物を加工する工場の建設、地元食材を活かした幅広い世代向けのカフェ整備などのプランを示しました。福島市長は「いただいたご意見は大変参考になりました。今後も若いみなさんの発想を教えてください」と講評を述べました。

1年生は総合学習の一環で「つがる市総合計画」を研究し、地域の抱える問題とその解決策を考案。同校内において、農業、観光、福祉、人材育成、住環境の5つのグループに分かれ、市職員と意見交換会を行いました。高校生ならではの視点でとらえた、市の明るい未来を目指す率直な意見や質問に対し、それぞれの分野を担当する職員が丁寧に回答していました。